

1952.5.1

受信 21.40
誤難 22.00
誤了 2.0007
電自 00605
電至 00607

概作

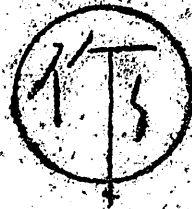
五
一
緊急

受信 二二〇四〇〇

誤了 二、〇〇〇七

電自 〇〇六〇〇七

概作



東通・聯合艦隊口

機密第〇一〇一五八番電 三分、二二三

發 三十二根司令官

宛 第三南遣參謀長

通報 南西方面艦隊參謀長 大海參一部長

「ダバオ」方面ニ關スル敵情既概報ノ通

米軍ハ「ミンダナオ」嶽定ノ本格的行動ヲ開始ニ「サンボアン

ガ」
「スリガオ」
「カガヤン」
「コタバト」ニ侵攻敵匪團之

策應「ダバオ」包圍ノ態勢ヲ執リ先ツ「コタバト」揚陸部隊ヲ以

通 五五五三 呂一Bラ十八(七八七五KG) 三二通 菅原(半澤) 林(雨谷)

テ背後ヨリ急進牽制シテ匪國ヲ促ト共ニ數日來揚陸ニ際シ連日
 百機以上ヲ以テ水際陣地^{主陣地}又「グラ」ン」(「サランガニ」灣
 口東海岸)ニ根據ヲ有スル敵魚雷艇群ヲ以テ毎夜「ダバオ」灣ニ侵
 入港灣及附近偵察スルト共ニ外周見張所
 三「コタバト」揚陸ノ敵部隊ハ約一箇師團ニシテ匪國之ニ策應其ノ先
 遣部隊ハ「コタバト」街道ヲ東進「デゴス」守備隊ヲ背後ヲ衝キ四
 月二十六日終ニ「デゴス」ニ突入セリ其ノ兵力ヲ攻撃シテ無力化ヲ
 圖リ正ニ海正面ヨリスル本格的攻撃前ノ光景ヲ呈シツツアリ砲十數
 門發砲 多數ヲ有スル車輪部隊約五〇〇名ニシテ其ノ一部ハ既ニ
 「デゴス」飛行場ニ侵透更ニ三十日二〇〇〇敵約三〇〇名迫撃砲四
 ハ第二飛行場西方四軒地點「マテナ」(海軍擔任區最外堡壘)ニ侵
 入海軍部隊ト交戦中之ヨリ先在「ダバオ」海軍部隊ハ第一警戒配備
 トシ陸戦配置ニ就キ全員士氣旺盛
 三二十九日迄ニ收メタルハ航空隊ノ分ヲ含ズ人員殺傷二六〇機砲七
 以上破壊魚雷艇一擊沈二擊破(零水攻撃ニ依ル)。

1654

5.3日 受信 04.35
訳始 07.45
訳了 10.30
電作 01390

作

五三 受信 〇四三五 譯了 一〇三〇 電 〇一三九〇 作

昭和廿年五月四日

三二根戦術報告信証所

一二根下・二三根下・二六根下

機密第〇二一五二二番電

三分ノ一

三二KB戦術報告第七九號(五月一日)

一、ダバオ方面

ウ)「デゴス」「ダバオ」街路ヲ東進中ノ敵ハ約三個大隊ニシテ吉田

山麓軍方面ミンタル方面及第二飛行場ハバツ方面ニ各一個大隊

ナルモノノ如ク敵ハ野砲追進砲隊若干機銃並裝甲車數輛ヲ有ス

概 回海軍防備地區西端夕日モ橋ニ於テ一日早朝來約二〇〇ノ敵ト對峙

シ十四連砲臺十連極水平砲臺(第二飛行場北西二軒)ヲ以テ「マ

テナ」ノ「マ」ノ敵ヲ猛攻野砲二門ヲ撃破人員多數殺傷一時敵

ハ砲亂ニ陥リ逃げ逃セシモノ一(本)三分ノ二砲隊布、三未着)

一三三八八 呂一八 八(七八) 三二二(吉井)

4

五

人

緊急

三二 受信二二三五
開始〇〇一二二

了〇二二八 電〇一三五七

昭和廿年五月四日
作 概



機密第〇二一五二番電 三分ノ二

三二根 戦況概報着信箇所
二二、三三、二六各根

(一) 敵ハ「夕バオ」市突入ヲ企圖セルモ我ガ方ハ逸早ク推定シ日本

橋ヲ破壊セリ敵約二〇〇ハ〇五一五水平砲臺ニ迫リ激戦中ニシ

テ目下同砲臺下ノ連絡不通ナルモ二三〇〇頃敵ハ必勝臺ノ先端

ニ進軍全砲臺ヲ占メタルモノ如ク同夜豪雨中海軍部隊ハ第二

飛行場マテナ方向ニ斬リ込テ敢行セリ

(二) 夕バオ河右岸地區ノ海軍陸戰部隊ハ第三大隊(大隊長海軍大尉

樋口 忠壯) 第二飛行場並地員及第二六魚雷調整班員ニシテ左岸

地區ハ第一大隊(長海軍中尉森本末吉) 第二大隊(長海軍中尉

齋藤 高八郎) 本電三分ノ一、三未着

通一二四三 呂一Bラ一八(七八五五) 三二道 伊藤(小海軍)

5

B+3
C+2
d+5
7+5

停

五二
受領一八七五
一八三五
電〇〇九八四
作概〇

● 天一號作機標取
● 沖繩根

機密〇二一五三一番電

一五〇〇
船 情況

(兩人爲視界一五軒機度) 口區B三(ニユ)メキシコ
機三〇三 D九 T約五〇 上空飛行機チシ。 ナキサス

編一〇九二 呂一B(七四六〇KC)沖根 片山(玉谷)

昭和廿年五月參日

陣地ニ移動セリ本日迄ニ敵ニ與ヘタル損害人員殺傷約二五〇車輛一五
 四 五月一日「サランガニ」基地滑走路ヲ破壊セリ「デルモンテ」基地ハ
 本四月二十六日撤收「バレンシヤ」基地ニ合同セシメタリ
 五 修理使用中ノ零戦二機ハ敵ノ侵入速ナリシ爲修理ヲ断念スルコト
 キニ至リ遂ニ飛行機皆無トナレリ搭乗員六名陸戦ニ轉換セリ
 六 〇九〇〇一〇〇〇小型飛行機延一八八一二四 五機各陣地ヲ銃爆撃
 中ハ概ネ常時在空中アリ内一機ヲ海軍部隊ニテ墜陸

五三 受信開始 一五三〇〇 丁一八一五 〇〇一五〇〇三 作 電

急



三二浪戦團概報着信所
二二根△・二三根△・二六根△

機密 第〇三〇〇一七番 二分ノ三

三二五〇戦團概報第二號(五月三日)

マダバオ方面

(1) デロス街道ヲ東進セル敵主力ハ「トリヤオン」「トリル」方面ニ

近進シ兵力約一三〇〇〇ニシテ攻取目標ハ「ミンタル」「トシナ」

方ト判断断セラルニ日一五〇〇頃「トリル」通過東進中敵車輛七九

發甲車(又ハ中戦車)九加機砲四

(2) 昨夜必勝齋南端ニ侵入セル敵ハ海軍第三大隊一應之ヲ退還セシモ重

通一四九六、一五四六 呂一四二八(一五七一〇北) 三三通 林(金子(土) 谷)

昭和廿年五月四日

迫六ヲ有スル敵二〇〇ハ同地ニ陣地ヲ構築開始ス第三大隊ハ砲
臺協力射撃ノ下ニ再度逆襲之ヲ遂進前陣地ヲ確保セリ第二飛行
場ニ侵入セル敵ハ約五〇〇ニシテ約二〇〇ノ敵ハ日本橋ヲ補修渡
河シ第二波止場ニ於テ激戦中朝來敵迫撃砲ハ第二波止場附近ニ集

中サレツツアリ

(三)山砲八ヲ有スル約三〇〇ノ敵ハ武勇臺將軍臺「夕日モ」「ミン

タル」間陸軍陣地ヲ砲撃シ來タルモ退セリ

(四)戦果昨一日夜斬込隊ニ依ルモノ幕舎破壊一人員殺傷多數

(五)昨夜南非空ハ第一飛行場ヲ爆破セリ

(六)〇七二八一一八二〇S B D I一B I二機P I三八延二三機ノ自爆

撃ヲ受ク

(七)在空戦果B I二機墜五機

ニバルト見張所ヨリ敵艦三隻巡洋艦及飛行機ノ砲撃ヲ受ケシモ
被害輕微ナリ、敵機一隻巡洋艦二隻哨戒艦七上陸用輸送船六隻

方位九〇度距離二〇海里路北一八五〇見張所ノ報告ニ接シ「ダバオ」
 攻略隊部隊（甲）標的魚雷艇隊大發（特）攻ハ夜ヲ徹シ絶好ノ時機ヲ捉ヘ
 テ敵艦隊を滅ノ爲一掃ハ直ニ出陣一掃ハ明夜ノ出陣ニ備ヘ待機セリ
 三ポイントトリオヲ魚雷艇基地ハ二十七日ヨリ三十日迄魚雷艇ヲ認メ敵艦
 隊機ノ襲撃ヲ受クルモ被害ナシ

昭和廿年五月四日

3218

人

傍

五 四 受信 一二三四五
譯始 一二四五

譯了 一三二〇 電 〇二〇六三

作 瀧

昭和廿五年五月

● 海軍陸戰部隊
● テゴス、サランガ各航空基地

● 三 二 通

機密第〇三〇〇一六番電

發 三二警備部隊指揮官

宛 海軍陸戰部隊

通報 テゴス、サランガニ

海軍警備部隊 三南進陸隊參謀長

三月一日夜襲ヲタノミ必勝臺(ダバオ)第二飛行基地北西二軒三大隊ニ

中前進障地ノ一五繩水平砲臺ニ迫リ同臺南端高地攻略障地構築中ノ敵

ニ對シ第三大隊(バ)今朝來第二大隊馬脊山砲臺ノ(ダバオ)第二基地北北

西六軒ノ協力ヲ得テ反擊ヲ決行侵攻ノ敵ヲ一舉ニ前進障地ヲ奪回之ヲ

確信シタルハ大イニ可ナリ

通二三一 (一三三七一〇) 三二通 武原(森田)

12

(一)司令部大隊(四五九名)隊長守田中尉

(二)陸戰隊本部(一四三名)隊長竹永中尉

(三)一大隊(四一六名)大隊長森本中尉一中松本中尉芳隆中尉

尉二中伊藤少尉(陸)三中松本黑茂中尉

(四)二大隊(七四九名)大隊長齋藤中尉一中宮崎中尉二中澁

谷中尉三中島田中尉四中直井中尉

(五)三大隊(一〇九七名)大隊長樋口大尉一中若野中尉二中

笠井中尉三中國枝中尉四中大江中尉

(六)內務隊(含ムタバ才河舟艇隊)德原大尉

(七)醫務隊村上醫大尉黑澤醫大尉藤岡醫大尉河崎醫大尉今城

醫大尉小關醫大尉

(八)主計隊高木主大尉相樂主大尉坪野主大尉

以下四分ノ三、四

(九)二六魚雷調整班(九一名)武藤大尉(一〇)南洋空(

一三〇四名)司令前田大佐第一ムバ才分遣隊武安大尉第二ム

(一)

14

八才分遣隊 小川大尉 太田大尉 森谷大尉 毀勾大尉 和由大尉 兼森
 大尉 武種醫中佐 野村醫少佐 白崎醫大尉 花岡醫大尉 田境主計大
 尉 魚住主計大尉 住主計大尉 (カ) 第三氣象隊 八才觀測所
 (二四名) 堤中尉 (日) 第百三病院 八才分院 (二九名)
 大塚醫大尉 茂呂醫大尉 內藤藥大尉

三?

「デゴス」警戒部隊 (假稱) 總兵力二三四二名 (內准士官以上
 四三名 下士官兵六三九名 應下補充准士官以上三名 同下士官兵二
 四九名 外派遣兵一名 軍屬一三九七名)
 (イ) 四大隊 (四七一一名) 大隊長 水谷大尉 一中小川中尉 二中矢野陸
 少尉 三中山田陸少尉 四中增田陸少尉

(ロ) 第二三五設營隊 (一三八八名) 隊長 辻大尉 太地技術大尉 尾上

軍醫 大尉 高田 軍醫 大尉

(ハ) 「八才」支部 (全兵力一八一一名) 上原技術師

(ニ) 南菲空 (全兵力三九五名) 分遣隊長 高橋 中尉 坪井 軍醫 大尉

(三)

15

三「サラングニ」警備部隊「假稱」總兵力七六五名（内准士官以

上二〇名下士官兵七一五名軍屬二九名陸軍派遣兵）

(イ) 三十二特根（全兵力七六名）砲臺長關口中尉

(ロ) 三〇一工廠殘留隊（全兵力六〇名）隊長小高少尉三〇一設營

隊長大條大佐「ダバオ」着主力「ダバオ」ニ向ケ轉進中

(ニ) 南菲空（全兵力一三一名）分遣隊谷口少尉

(三) 一〇三軍需部「ダバオ」支部（全兵力七名）軍需部囑託「ダ

バオニ轉進中

四見張所（戊）

(イ) シアカリアン（全兵力三一名）石上兵曹長

(ロ) 「バルート」（全兵力三三名）武田兵曹長

(ハ) 「サンオーガステン」（全兵力四二名）渡邊兵曹長

(ニ) 「トナイ」（全兵力八九名）森光兵曹長「ダバオ」ニ轉進

中

(四)

(※)「ヒナツアマク」(全兵力二七名)山田少尉「ブツアンニ轉進」

再「タバオ」地區所在陸軍兵力據兵團「約一九〇三名」。
(電信課註 本電四分ノ二未着)

5. 4日 899T

受信 03.45
訳始 20.30
訳了 09.30

電 02499
32作機

至 急
五 四 受信 〇三三四五
譯始 二〇三〇
五 譯了 〇九三〇 電 〇二四九九 作 概



南 西 方 面 艦 隊

機密第 〇三〇二二四番電 四分ノ二

派遣警察隊 (警部十名巡查三〇二名) (一一)「夕バオ」榮部隊 (部隊名艇名指揮官)

一 第一攻撃隊 甲標的第七七號 小島大尉 照屋大尉

二 第二攻撃隊 第一二第二五魚雷艇隊 魚雷艇四隻 隼艇六隻 林藤大尉

三 第三攻撃隊 雷裝大發四隻 松井大尉

四 第四攻撃隊 雷裝大發二隻 船一隻 宮宗大尉

五 第五攻撃隊 雷裝大發二隻 岡田兵曹長

(1) 第三二通信隊 (二一四名) 田中大佐
電信課 本電四分ノ三 四既配布

呂 一 〇 一 八 (七八五五) 三二通

風 間 (小 隊) (一)

昭和...

(四) 第二一五設營隊 (九三七名) 長 中島技術大尉 福田軍醫大尉

淺井軍醫大尉 三橋主計大尉 弓木技術大尉

(五) 第一〇三軍需部 第一〇三經理部 夕バ才支部 (一三九五名) 支部長

福泉主計中佐 島袋主計大尉 萩野軍醫大尉 關野空計大尉

清水主計大尉 野島主計大尉 岡内主計大尉 勝村主計大尉

(六) 第一〇三施設部 夕バ才出張所 (一九七七名) 所長 桶中中佐

黒須主計大尉 香川主計大尉 〇二二八

(七) 第三百三工作部 第六分工場 (二五八名) 工場長 杉本囃託 監督

水笠技術大尉

(八) 南西方面海軍航空廠 夕バ才分工場 (二〇三名) 荒川大尉

(九) 第一〇三工作部 夕バ才派遣隊 (一三八名) 日野技術大尉

(十) 第四十三軍用郵便所 (四名) 土橋囃託 他二〇派遣 砲煩兵裝隊

(一) 一五名 今社工長 (二三三) 在勤武官 〇三二名 桑山主計少佐

19

X

五三 受信一四〇〇 譯了 一六〇〇 電〇一四五五 作根 昭和廿年五月四日

緊急

作根

三三特根戰團概報通信艦所
機密第〇三〇九五一番電

電 〇 1800 作根 〇

18.00
18.50
16.00

日信始了
受根

029T 1620

通一五三六 日一五十八(一五七一〇) 三二通 坂本(猪狩)

三二五五 戰團概報第三號 (五月三日) 其ノ一
一三一五 敵攻路部隊北上ト「バルト」見張所ノ警報ニ接シ「ダ
バオ」灣海上奇襲部隊甲標的及補助艦艇ノ一部出撃之ガ鑿滅ヲ期ス
ヲ視界内ニ於ケル敵艦船海内
(1) 視認シ得タルモノ戰艦一巡洋艦二驅逐艦三大型輸送船三〇
(2) レイゴス方面接岸中ノ敵ノ驅逐艦二掃海艇一
(3) ダバオ沖戰艦一巡洋艦二驅逐艦一飛行場正面海弋中ノ艦艇戰艦一

20

隻巡洋艦二隻驅逐艦一隻

三 左岸地帯（第一線第二砲臺第二大隊二中隊一小隊）敵約一箇中

隊ト激戦中ニシテ陣地ヲ死守シアリ

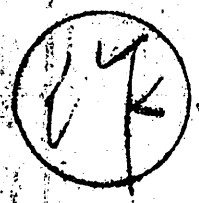
四 同一陣士氣旺盛目下抑壓中配置ニアリ

21

昭和廿年五月四日

五三 受信一九〇九 詳了二〇三〇 電〇一五四六 作罷〇

緊急



◎ ◎

三一通 大海參一部・南西方面艦隊P

機密第〇三一二二五番電

發 三二警備艦隊指揮官

宛 三K 司令長官

通報 GKF 司令長官 大海參一部長

「マダバオ」方面ノ戦局ニ鑑ミ在テコス海軍部隊ハ陸軍ト協定ノ上

陸軍部隊ト共ニ「マダバオ」ニ集結セシムルコトトヒリ

集結位置

ニサランガニ基地附ノ第三〇一設管隊ノ主力ハ「マダバオ」運出困難

ニ付「サランガ」部隊ト行動ヲ共ニセシムルコトトヒリ

道一六一九 呂一三十八 (一五七二〇) (三三三) 新倉(阿波)

22

緊
急

五
四

受信〇一〇二
譯始〇二三五

譯了〇六〇五

電〇一八五二

作
概

昭和四年五月五日



三二根

戰國報着信艦所

二二根▽・二三根▽・二六根▽

機密第〇三一六二五番電

二分ノ一二

戰國報第四號（五月三日〇七四五）

一、夕バオ方面

(A) 昨夜二大二中ハ陸軍ト協力第三砲臺南端高地ニ陣地構築中ノ敵

約二〇〇七一ヶケオカ馬背山砲臺各砲臺ノ制壓射撃ノ後逆襲切

込ヲ決行セリ

(B) リウ工飛行場南東砲臺官部隊ノ正面ニ敵約一〇〇

(C) 一〇〇敵巡洋艦一隻艦砲射撃開始攻撃目標ハ左岸地區前進陣

通一八八二

通一九四一

呂一Bラ十八（七八五五）三二通

高橋
桐本（杉本）（一）

23

地附近驅逐艦二隻、三隻第二飛行場沖ヲ游弋中ナルモ他ノ艦船
其ノ後ノ狀況不明

月一〇〇「マンドツク」海軍司令部北方約二軒ノ警察隊本部ニ
對シ「カルピン」銃ヲ有スル敵匪（兵力不詳）來襲交戦ノ後之
ヲ撃退

ニ、デゴス方面（五月一日）

(4) 敵ハ野砲ノミ數千門ヲ以テ我が主陣地附近ニ熾烈ナル砲撃ヲ集
中戦果人員殺傷約五〇

(5) 航空隊ハ最前線ニ於テ目下敢闘中

(6) 〇八三〇ヨリハ観測機ノ使用ヲ開始セルモノノ如シ。

24

5.4日 1675

概作 0

受信始
了
電

18.04
19.00
21.00

{02372
02373}

傍

緊急

受信始一九〇〇四

了二一〇〇

電〇〇二二三七三

作概〇

● 五基地航空部隊△
● 南西方面艦隊P

● ツゲガラオ航空基地

機密第〇三二二四五番電 三分ノ二

ツゲガラオ基地指揮官

宛 第一航空艦隊参謀長

通報 南西方面艦隊参謀長

在「ツゲガラオ」警備隊長坂巻大佐ヨリ尙武作命甲第五七五號又駁作

命甲第二四二號ニ依リ當基地隊ヲ協力ニ區處シテ五月一日「ツゲガラ

オ」「ツマサ」チ「間約五〇軒ノ交通路ヲ確保トヨト命令シ來レルモ

本職ハ陸軍ノ指揮ヲ受クベキ何等命令ヲ司令部ヨリ受ケ居ラストテ之

通二〇四九七

二〇四九七

呂一Bラ一八一三七八三、五FG一五FGB放

長谷川(新井)

25

チ拒絶トリ但シ已ムヲ得ザル狀況ニアリ基地任務ニ差支ナキ範圍ニ於テ
 協力スルコトトトリ准士官ヲ長トスルニ六名ノ連絡員ヲ一時ハツマウイ
 ニイニ派遣スルニ決トリ本件ニ關シ坂卷大佐ハ陸軍ノ命令ニ間違ナク
 實際ガ陸軍ノ指揮ヲ受クルコトニ付當地間ニ支障アル點ハ。

一電信課註 本電三分ノ三未着

26

5. 4日
249T
受信 17.40
送信 18.03

了 19.15
電 02446
作 0
概



五
機密第一八〇三
丁一九一五
電〇二四四六
作 概〇

- 五番地航空部隊△
- 津ゲガラオ航空基地
- 津府方面機隊F

機密第〇三二二四五番電
三分ノ三

強硬ニ主張シテルト共ニ今後モ右ノ如ク要求ヲシテ來ル事多シト思考サ
ルルニ付此ノ種要求ニ關シ明確ナル御指示ヲ得度尙當基地ニハ南西方面
部隊機密第一一一五一九番電ノ外受領シ居ラヌ。

一電信課註 本電三分ノ一ニ既配布

通二三九一
呂一Bラ十八(一二六五四)六特一△

小林(庭) 留)

27

緊急

五四 受信始一〇四一 譯了 一三四〇 電 〇二〇四四 作概



五基地航空部隊臺灣方面飛行機配備基地

機密第〇三二二三三五番電

H三A B 戰國報 (五月三日)

テゴス分遣隊ハ「ゴマ」後方陣地ニ逐次集結タテ才轉進準備ヲ開

始昨日迄ノ綜合戰果人員殺傷三〇〇以上自機賣車七砲一大破第二

基地本日一六〇〇飛行場北側道路ヲ使用觀測機ニ機着陸航空隊本

部ハマンツクハ「ラサン」方面海上ノ行動ヲ嚴重監視嚴戒中

ニ〇七二〇バルト見強所ノ發見ナル道路部隊輸送船團三〇隻内一

〇隻ハ一六〇〇「夕日」沖ニ現ハルルモ一六一五或艦ヲ先頭ニ

前方視界外ニ去リ

通二一九七

日二〇分一三二五七

小原

了 13.40
電 02.044
作概

4日 受信始
4日 受信始

5. 849T

28

三〇七一五一一六四〇P I三八一機S B D I一
 三六機各陣地偵
 察並ニ銃爆隊觀測機延三機一二二五以
 後概ネ在リ前記ノ如ク第二
 飛行場附近ニ着陸セリ。

29

電 01918
作概

089T

5. 4日
受信始
誤了

04.40
06.00
08.50

其ノ三

三二警備部隊戦闘編報第五編 (五月三日)

54

緊
急

五 四
受信始 〇四四〇〇
〇六〇〇〇
了 〇八五〇
電 〇一九一八
作 稿

一、夕バオ方面
(1) 砲迫及砲射
未々積極的進出ヲ見ス
(2) 我ハ「ゴニス」市
侵入セル敵ニ對シ夜間燒打並ニ斬込ヲ實施ス

ル豫定
通二〇三九
呂一〇八一八(七八七五北)
三二通
新倉(様) 澤)

機密 〇三二三五三番電

三二特根 〇三二特根
三二特根 〇三二特根
三二特根 〇三二特根

昭和五年五月五日

(5) 〇七二五一一六〇〇s 〇一一 四一機降地偵察機観測機常時二機

在空中ノ内二機ハ艦載機ニ六〇〇観測機二機第一飛行場ニ着陸ス

敵艦船状況

(1) 〇〇〇「デゴス」方面輸送船一二上陸用舟艇多數接岸中ナルモノ

ノ如シ(視界不良ノ爲詳細不明)

(2) 〇〇〇バルト島二五〇度六〇新D一T大一針路北西

(3) 一六二〇上陸用舟艇八「デゴス」ニ「タロン」方面接岸北上中

(4) サンガイガスチン見張報告ニ依レバ一八四五D一〇四D七ヲ

含ム十七隻(後續部隊アルモノノ如シ)灣口碇泊中

三敵水上部隊ハ我ガ主力ノ正面ヲ避ケ「デゴス」「タロン」方面ニ兵

力ヲ揚陸セシメ避退セル算アルニ詳細不明

289T

5.4日
受信始
誤訊了

21.35
21.41
21.57

電 02,204
作概 0



五
四
受信始 二二四一
二二五七
電 〇二二〇四
作概 〇

三二二時
第三南遣隊

三三番パラバツタ派遣隊

機密第〇四一九四五番電

一、敵ハ三十日以來連日夕ダツト地區飛行場並ニ水際ヲ反覆襲撃（B-I
二、九B-I三三B-I二四P-I三八）其ノ積極的企圖ヲ思察スルモノアリ
三、敵ノ攻撃ニ對シ萬全ヲ期セントス。

二二五二〇
於一〇（七八三五四）三二二番
清水（吉田）

32

(ロ) 現在迄判明セシ戦果人員殺傷五〇〇 被害海軍砲臺重砲二 幕舎

二 車輛其ノ他調査中 海軍中尉堀内宗孝麾下陸軍少尉村岡幹外

一三 戦傷一〇

(イ) 昨日同様終日敵機上空制壓

(ニ) 一六一五ダバオ方面ノ敵ハ逐次増加其ノ兵力約一個師ニシテ其ノ

優力意外ニ早ク其ノ主力ハ陸軍擔當地區「ミントル」カリナン

方面ノ平地ニ主向シ我復廓陣地ノ後方ヲ遮断セントスル傾向アリ

ニテゴス方面

(イ) テゴス部隊ノ復廓陣地「ゴマレ」ハ概ネ完了セルモ未ダ行衛不

明ノモノ約四〇名アリ

(ロ) 現在迄判明セシ綜合戦果 人員殺傷四二〇以上 砲二 トラツク

八臺 自動小銃輕機銃四破壊

三 海上方面

(イ) 「ダバオ」「サントクルーズ」沖遊弋中ノモノ五五二 上陸用

34

昭和四年五月廿日

舟艇八二ノテ〇九〇〇小舟艇六ノタバオ一河口ニ侵入一八〇〇魚
雷艇二一タバオ一河口隣戒ス。クラン灣口一碇泊

(四)二日夕刻一タバオ一灣内ニ侵入セル敵水上部隊攻撃ニ向ヒタル甲
標的未ダ確識セズ一テゴス一方面ニ敵ヲ襲撃戦果アリト推定セ
ルモ詳細不明サマ一ル北東海面ニ出撃セル大發隊ハ敵ヲ見ズ

歸投ス

(五)現在迄ニ判明セル海上戦果零戦一依リ魚雷艇撃沈一撃破三
四ランコン派遣隊ノ報告ニ依レバ敵機ハ五二九五二五五二二四
三八一ハ三十日以來連日夕タツト地區飛行場並ニ水際ヲ反覆襲撃

嚴戒ヲ要ス

五マノイタノ隊ハ二日夕一オノ一ヲテ北西一四軒一ニテ一オノ一
隊ト連絡二三〇〇マノ一ヲテ北西一二軒一出發

35

5. 989T

5日 受信 23.17
訳始 02.08
訳了 02.52

電 102924
102925
作概



五
六五 受信 二三〇一
譯始 〇二三〇八
譯了 〇二五二
電 〇二九二
五九二四
作概

● 三二根 戰國 概報 着信 監所
● 二二、二三、二六各根

機密第〇五二〇三五番電 二分ノ二

三十二日 戰國 概報 第七號 (五月 五日)

下タバオ方面

(1) 海軍部 除正面ノ戰線 大ナル變化ナドモ 終日 S D D I 一上空ニ

アリ 我第一線及砲臺ニ對スル敵二十種砲十二種重砲及迫撃砲

ノ射撃熾烈ナリ

(2) 四日 我陣地ニ攻込シ來ル敵ニ對シ 爆雷利用 地雷攻撃 ナシ 重

機 二五 爆碎 無線機 一 鹵獲セリ

通 三二五八

呂一Bラ一八(七八七五) 三二通 山崎 (蓮田)

(1)

36

昭和十一年五月六日

(イ) 敵ノ「ダバオ」市以東ニ對スル進出ヲ見ズ

(ロ) 「ミンタル」方面ニ敵砲兵一部進出ス

三 「デコス」地區我軍陣地前方ノ敵ハ四月一四三〇南方ヨリ逐次ト

ラツクニテ後退セリ 我陣地前方ニ敵影ヲ認めズ

戦果人員二〇名殺傷機銃三箇獲

三 海上方面タロモ灣附近ニ敵艦逐艦 二輪送船五隻魚雷艇二隻侵入セル

外ダバオ灣内魚雷艇哨戒シアリ。

(2)

37

5. 6日
 889T 受信始 08.44
 受信了 09.45
 11.10

電 ~~032145~~
 03145
 作概



緊急

五 六 受信始 〇〇九四四
 九四五

譯了 二一一〇 電 〇三一四五

作 概

第五基地航空部隊戰國概報着信艦所

機密第 〇五二三〇三番電

H三A B 戰國概報 (五月五日)

二テゴス主陣地前方ノ敵ハ一四三〇頃ヨリトラクク七輛ニ分乘後退セ
 リ、夜間斥候偵察ノ結果陣地附近敵影ヲ見ズ、戦果人員殺傷二〇名
 一七〇〇ゴマ北方附近帯ニ集結タバ才轉進準備完了
 二〇八三五一八〇〇S B D 延九先ニP I 三八 一機各陣地ヲ銃爆

三四三五 呂二B (一一三四七五七) 五FQB放 高橋(吉) 田)

38

昭和十五年五月廿四日

689T

5. 6日 受信 21.41
受訊 22.10

了 22.35
電 03430
作 概 0

通三八〇四

呂一Bラ十八(三七八二五IC)夕ヲ

馬場(小澤滿)

左記至急知ラサレ度
マ三三根(セブ)及力ガヤントノ連絡狀況
ニポートプリンセサノ連絡杜絶日時。

發 一 A B 參謀長

停

機密第〇六二〇三四番電

緊急

タバオ第一航空基地

五基地航空部隊

五六 受信二二一四一
譯始二二一〇一
譯了二二三三五
電〇三四三〇
作 概〇

昭和廿年五月七日

5. 069T

8日 受信始了
電

14.15
16.00
19.25
04251

概本
作券

12

五八
受信一四一五
譯了一九二五
電〇四二五一
參作
本概

昭和七年五月九日

三二根戰艦着信艦所
二二根、二六根、二三根各

機密策〇六二一一二番電

三二五B 戰艦概報 (第八號) (五月六日)
下々バオ方面

(イ) 敵砲撃ハ漸次ニ我方後方周邊ニ移行特ニ我砲臺ニ對シ集中シ
アリ、敵機ハ燒夷彈ニ依リ陣地燒却ヲ圖シ
一線部隊ハ依然現陣地ヲ確保シ士氣極メテ旺盛
(ロ) 一々ロミ北方「カタルナシ」方面ノ陸軍陣地正面ニ戰車四臺
ヲ含ム有力ナル敵強壓ヲ加ヘ來ルモ戰車後上一人員殺傷多數ノ
通四六一一 〇一Bラ十八八一五七一〇(三)三二通
小宮(鈴三)

40

新 報

戦果ヲ收メ警退ス

(2) 「リヤオン」 「リビ」 第二飛行場ニ敵機ノ發着ヲ見ルモ
本格的ニ使用ニ至ラズ

ニ本日「タロモ」沖ニ侵入セル敵艦船艦種不詳小型四魚雷艇二隻

41